



とやま親学び通信 推進リーダー等研修会と 各地域での「親学び講座」の様子から

平成30年8月3日発行
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

日ごろより、親学び事業にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

5月に開催した「とやま親学び推進協議会」では、各関係機関の連携の大切さが再確認されました。県P連及び地区P連のみなさんには、これまで「親学び事業」に深くかかわっていただいておりますが、最近、特に熱心に、それぞれの地区で積極的に研修会や情報交換会等を計画してくださっています。それらの機会を通して、推進リーダーさんやPTA役員さんが自信をもって講座を開催していただけるようです。

今回の「親学び通信」では、県主催の研修会の様子と、実際に開催されている「親学び講座」を紹介します。

(中略)

実際に開催されている「親学び講座」の様子から

親学び推進リーダーのみなさんから報告をいただいた「親学び講座」について紹介します。参加者や地域の実情に合わせて様々な形態で、それぞれにアレンジを加えて開催してられます。よろしければ、これから開催される場合の参考にしてください。

【PTA行事として開催】

中学校のPTA行事として「親学び講座」が開催されました。事前に、PTA役員と「小中推進リーダー」が打ち合わせすることで、当日の進行もうまくできたそうです。グループワークでは、意見を付箋に書くことも取り入れ、参加者が満足できる講座となるよう工夫してられます。



【ブロックPTAでの開催】

ブロックPTAの活動として「親学び講座」を開催されました。今回は、気楽に参加してもらえるように「親学びティータイム」という名称で、お茶とお菓子を楽しみながらというスタイルにしたそうです。せっかくなら地元のものということで「バタバタ茶」と「ヒスイ羊羹」が準備されました。地区に受け継がれている「バタバタ茶」は、親学びにもぴったりで、とても好評だったそうです。

【健全育成協議会での開催】

校区の健全育成協議会の活動として「親学び講座」が開催されました。今回は、平成23年度作成の「親を学び伝える学習プログラム」(発展プログラム)の「やる気を高める言葉がけとは?」の内容を一部変更して使用されました。小学校、中学校のPTA役員だけでなく、教職員、地域の方が、世代を超えて話し合うよい機会となっているそうです。

